

令和4年度

第2回一宮市子ども読書活動推進懇話会・会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和4年11月16日（水）午前9時56分～11時7分
 - 2 開催場所 中央図書館 7階 講座室
 - 3 出席者 懇話会委員：7名、事務局7名
 - 4 欠席者 懇話会委員：3名
 - 5 議題 (1) 一宮市子ども読書活動推進計画の成果について
(2) その他
 - 6 開会 (事務局が開会を宣言)
「子ども読書のまち宣言」唱和（先導は会長が選出した委員）
懇話会会長挨拶
 - 7 会議 (要旨)
- (事務局) 議題(1)「一宮市子ども読書活動推進計画の成果について」第1回子ども読書活動推進懇話会で委員から出された質問事項について、各担当部局の回答を報告。
- 質問:学校図書館の図書購入費が年々減額されている理由について教えてほしい。
- 回答:<教育部総務課>
限られた予算の中で優先順位をつけて予算を作成する必要があり、小中学校全体の予算額が前年度より増額にならない状況において、各小中学校で必要となる予算を振り分けた結果、図書購入費は減少傾向にある。
- 質問:学校図書館図書整備率が120%を超えているが、現状はかなり状態が悪くなっている本でも廃棄せずに使用している。廃棄の仕方について教えてほしい。
- 回答:<教育部総務課>
子ども読書活動推進計画の目標値は、文部科学省の基準(学校図書館図書標準数)に1.2を乗じた蔵書数としている。図書の廃棄は各学校において、図書の利用価値の有無や破損の度合いを見ながら判断しているが、古くなった本を廃棄する事で目標を下回る事がないよう各学校は状態の悪い本を補修して使用している。
- 質問:放課後児童クラブ等において、実績欄に図書の購入があった施設の数や購入冊数の平均が掲載されているが、決算額と予算額が0円になっている。これはどの予算で購入された図書なのか教えてほしい。
- 回答:<子育て支援課>
図書の購入については、図書資料の充実にあたるため、図書購入費の決算額及び予算額は「放課後クラブ等における、年齢や発達段階に応じた読書指導の推進」ではなく、「図書資料の整備・充実と情報の共有化」に記載してある。
- (事務局) これについては、現在、「放課後児童クラブ等における、年齢や発達段階に応じた読書指導の推進」の実績欄に記入してある図書の購入があった施設数と1施設あたりの購入冊数の平均を、「図書資料の整備・充実と情報の共有化」に記入した方が分かり易いと思われるので、担当課には来年度以降検討してもらうよう依頼しました。
- これは質問ではありませんが、委員さんから学校図書館司書には小学校は毎日、中学校もできる限り多く来てもらいたいという要望がありましたので、担当課である学校教育課に報告をしました。

- (事務局) ●その他に、前回の会議で話が出た中保健センターでのブックスタートの進捗状況と第1回目の会議と本日の会議に欠席された委員から届いた最近の所感を紹介。
- 以上、議題(1)推進計画の成果についての説明とさせていただきます。
- (会 長) ありがとうございました。只今の報告は、8月に開催された会議で委員さんから出された他部局関係の質問に対する回答と本日欠席された委員さんが最近思っている事を事務局へ提出されたものです。ここまでで委員さんからご意見はありますか。では、私から学校ボランティアさんとの交流やおはなし会ボランティアさんとの交流についてお聞きします。図書館ボランティアは全部で何団体あり、何人登録していますか。
- (事務局) 16団体、合計で152名の方にボランティアとして活動していただいております。
- (会 長) 全館合わせた人数ですか。
- (事務局) その通りです。
- (会 長) 活動日数や回数の実績はどうなっていますか。
- (事務局) 令和3年度は新型コロナウイルスの関係がありましたので、4館合わせてお話し会等を開きに来た人数は延べ1,148名です。ボランティアの方の参加者数については資料を持ち合わせておりません。
- (会 長) コロナ禍において、16団体152名の方にご協力をいただいている事は素晴らしいと思います。では、学校教育関係委員さんにお尋ねしますが、学校図書館ボランティアさんも同様な感じですか。回数についてはそれぞれの学校で違うと思いますが、小学校や中学校にもボランティアさんはみえますか。
- (委 員) 中学校は難しいですが小学校はやっています。
- (事務局) 今年度は図書館で活動されているボランティアの方々が講演会や研修会などを企画し開催していただいています。中心となって活動されている委員さんからご紹介していただきたいと思います。
- (委 員) ●令和4年度の図書館ボランティアの活動について報告あり。その中で新型コロナウイルスの為、人数制限がある事を意見される。
- (会 長) 分かりました。やはり新型コロナウイルスの為に制限があるという事ですね。今後ウィズコロナの時代になれば普通に帰ると思いますので、引き続き事務局には予算面や資材面で協力してもらいたいと思います。可能であれば、学校図書館司書さん、学校ボランティアさん、図書館ボランティアさんとの交流も視野に入れ、大きな組織で進めていただきたいと思います。学校教育関係委員さんからご意見はありますか。
- (委 員) それはさすがに大きな話です。読み聞かせなどは中学校では行わないので、小学校が中心になると思いますが、その学区で集まる所に図書館ボランティアさんが来ていただく事は、直接学校に依頼していただければ可能な事だと思います。
- (会 長) 良いご意見を出していただきました。本日の会議も提案していただく事で出席された皆さんがそういう事は可能だとわかります。コロナ禍で今は無理だと思いますが、来年以降は年に一度くらいは関係部局が一斉に集まり、子ども読書活動推進についての意見交換をしていただきたい。皆さんが集まる事が重要だと思います。先程の学校との連携が一番大事だと思いますがご意見はありませんか。
- (委 員) 10年程前は学校ボランティアさんが集まり話し合う機会があったが、最近はないという事を聞きました。そもそもボランティアは組織固めが弱いので思いが長続き

しないし実らない。学校や図書館側から会を催すなら協力すると発信していただきたいです。ウィズコロナで進めるなら規模を小さくして行う方法などを考えないといけないと思いますので、ぜひそのように発信していただきたいです。

(会 長) 中学校や小学校が発信しているマチコミドットコムを利用して配信していくような方法もあると思いますが難しいでしょうか。

(委 員) 例えば中央図書館からこういう事を企画しますという文書を学校に提出してもらえば保護者の方に発信する事は簡単です。但し、学校から送信可能なのは保護者の方のみです。

(会 長) それも可能なですね。

(委 員) 小学校へ読み聞かせボランティアとして来てくださる方は元保護者だったりする方が多いので、そういう方に繋げようと思うと、文書があれば読み聞かせの方々にマチコミ以外の方法でお渡しすることは可能です。

(会 長) 要は、今度は受ける側である図書館ボランティアサイドの情報の発信、回議、その辺りの構築が必要になってくるとは思いますがどうなっていますか。

(委 員) まだ出来ていないです。図書館ボランティアの役員同士や他のグループ長さん方とは繋がっていたりしますが、皆さんいろいろな条件があるので一斉にという事は無理だと思います。ですが、何らかの方法で連絡をやり取りする事は可能です。昨年度、中央図書館で紙芝居の講座がありましたが、学校図書館ボランティアさんなどにも個別に通知を行ったのですか。それとも広報とか図書館に置いてあるチラシを見て皆さん申し込まれたのですか。

(事務局) 図書館ボランティアさん、学校図書館司書さん、学校ボランティアさん、それから児童館などで活躍されているボランティアさん、一宮市内でおはなしのボランティア活動をされている方すべてが対象の講座ですので、おはなしボランティアさんにはそれぞれチラシを配り、学校には学校ボランティアの方や学校図書館司書の方にお知らせくださいという内容で校長先生宛に文書を送付しました。同様に児童館とか保育園などにも通知を送らせていただいています。

(委 員) 分かりました。

(会 長) 学校図書館としては、ボランティアさんを補充する時に注意事項などの説明はしますか。

(委 員) ボランティアなので説明はないと思います。だから研修があると安心出来ます。

(委 員) 何年も前からボランティアの皆さんは苦しんでいます。ボランティアが盛り上がってもまた続けられないという事になってしまう。本は何を選んで子ども達に聞かせたらいいか分からない。その辺りを図書館や学校から発信していただき相談に乗って欲しいです。

(会 長) 県図書館や他の機関から子ども達におすすめの本や紙芝居などが数多く出ていると思いますが、ボランティアさんに渡していただくとか、渡すのが無理ならば図書館の蔵書として多く購入して貸出していただく事は可能ですよね。

(事務局) 図書の購入につきましては、予算の範囲内で可能な限り選定をしながら購入をしていきたいと考えております。

(委 員) 今の学校の体制が分かりませんが、学校図書館司書さんが来校されるのであれば、学校ボランティアさんと学校図書館司書さんが最初の時だけでも学校単位でまず交流を持つ事は可能だと思います。とりあえず1年生はこういう本、2年生はこんな

本がありますという提示があればボランティアさんもやり易いと思います。

(会 長) 学校図書館司書さんは週に何回くらい学校に来られますか。

(委 員) 小学校は3回、中学校は2回、時間は午後2時から입니다。

(会 長) その間に時間を合わせる事ができれば良いのですが大変な事ですね。

(委 員) なかなか時間が合わないという事を聞いています。

(会 長) 一人の方が2校あるいは3校を受け持っているという事です。

(委 員) そうです。それで週5日の予定が埋まります。学校としては、読み聞かせボランティアの方から図書館に入りたいという話があれば全然かまいません。どこの学校でもおそらく受けていると思います。

(委 員) 先生とボランティアさんとの話し合いをする時間もなく、反省会がなければ打ち合わせもない。やはり時間がないという事です。

(会 長) 本日のような席であれば先生が出席されていますので、本当に有意義な会だという事です。

(事務局) 昨年ですが、おはなし会が出来ない時期がありました。その時にボランティアさんから仮想おはなし会を行いたいという依頼があり、いろいろな図書が紹介されたものを各図書館の館内に掲示しました。お尋ねしますが、あれはボランティアさんが図書を選ばれたのですか。

(委 員) 各ボランティアが選んだ図書を季節折々で羅列しました。

(事務局) このようにボランティアさんの力を借りて図書を紹介したという事例もあります。

(会 長) お話を聞いておりますと、ボランティアさんの力って非常に大きいと感じます。本日は出席していませんが、子育て支援課とか保育課とか青少年課もボランティアさんが在籍していると思いますが、その辺りは分かりますか。

(事務局) 他の部署のボランティアさんも少なからず在籍していると思いますが把握はしていません。

(会 長) 他の部署のボランティアさんについても把握しておいた方が今後の運用の中で活かせる気がします。それぞれの部局に出席してもらえば、その場で一緒に何かやりましょうとか、ネットワークを作り上げていけば運用は簡単になりますし、本当に誇れるものになると思います。「子ども読書のまち一宮市」として、子どもの読書に対してこんなネットワークを持っている。これはすごい事だと思います。また、今後についてはリーダー的な方を育てていただきたいと思います。これは行政の仕事になりそうですね。大きなネットワークを作る時に思うのは、第4次計画の32ページに掲載されていますが、一宮市子ども読書活動推進会議にこれだけの部局が関わっていますが、これは市役所の他の会議にはない事です。ぜひ、横の連携が取れる会議を開催していただきたいと思います。もう一つ、この一宮市子ども読書活動推進計画は一宮市のものだという事を皆さんの頭においていただいた方が良いと思います。図書館だけでなく、行政、学校と一緒に地域を巻き込んで進めていくという事を念頭に置いていただきたいと思います。ここまでボランティアさんの連携などに終始してきましたが、その他に皆さんの方から何かございますか。

(委 員) コロナ禍ですが、やっとおはなし会が再開しました。一宮市立図書館はまだ15分という限定と人数制限があります。いつになれば30分になるのでしょうか。

(会 長) 事務局の意見をお聞きします。中央図書館のおはなし会は15分と決めていると思いますが、全館15分で統一していますね。これについてどうお考えですか。

- (事務局) 15分というのは国の指針を参考に決めております。今後、インフルエンザと同時流行も懸念されますので、先が見えてきた段階で協議したいと思います。
- (会長) これはウィズコロナの方針が固まってきたらという事になりますね。その他ございますか。
- (委員) 今は携帯電話を見る方が多いので、文書で出すより携帯電話を使って短い言葉で伝える方が良いと思います。1年生に図書貸出カードを配布した時に「学校で何冊借りていても市内の図書館では10冊まで借りられます」という簡単な文章を各学校から配信した方がPRになると思います。
- (会長) 要は新1年生に対して図書貸出カードの発行の時に補足として一文つけてもらえないかという事ですね。
- (委員) 学校から配布される案内文は申し込みしだけです。多くの親は学校で借りたら図書館では学校で借りた冊数を引いた分しか借りられないと思っています。
- (委員) 学校の図書貸出カードを渡した時が良い機会だと思います。
- (会長) 図書貸出カードの使い方を分かり易くしてあげれば良いという事ですね。
- (委員) 文書は出しています。
- (会長) では補足するだけで良いですね。
- (委員) 小学1年生になる時に図書貸出カードを交付しますが、それ以前に作っているとそれまでの履歴がなくなると聞きました。
- (事務局) 小学校に入学した時に新しく学校との共通カードを作成しますが、その前に作られていた場合は、データを統合しますので履歴は引き継がれます。
- (会長) データは保存されるという事でご理解いただきたいと思います。かなり時間も経過しましたが、議題(1)一宮市子ども読書活動推進計画の成果について、それを更に皆さんで拡大していただき有意義な意見が出たと思っております。議題(1)についてはこれで了とさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。それでは議題(2)について事務局から説明をお願いします。
- (事務局) 議題(2)の「その他」につきましては特にございません。
- (事務局) 冒頭の挨拶で会長がお話をされたとおり、任期中の会議につきましては今回で終了になります。まだ任期中ですが、特別な事がない限り今回が最後の会議になります。一旦、ここでお礼の挨拶をさせていただきます。
- (委員) お願いがあります。第4次推進計画をできる限り多くの皆さんに見ていただく為に、ボランティアサークルや各部署に配布したというお話がありました。そこで、これからの5年間でどうなっていったのか、何かあったのかという話を集約する事が必要だと思いますし、5年間のうちに第4次推進計画の中で懇話会の時だけでもこれはどうだったのか、この計画に基づいて進んでいるのだろうか、ちょっとこれは見込み違いだったという話が出来たら良いと思います。この推進計画を見てボランティアが単なる自分の遊びではないという事を改めて感じたという意見ももらっています。私達で作っているこの読書推進計画はすごいね、大事にしたいねという事を知っていただきたいと思いました。
- (会長) 子ども読書活動推進計画は一宮市の宝です。これに沿って子ども達を育てていただきたいという事ですね。
- (委員) 計画があっても保護者の方達が興味を持って見てくれているのか疑問です。保護者の方に一つでも分かっていたらいいような方法はないのかと思います。

(事務局) 「見える化」というのは非常に難しい事です。市としてはウェブサイトなどに掲載していますし、多方面の関係者に冊子を配っておりますので、我々としては最大限の努力はさせていただいております。今後も皆さんに知っていただく努力を続けていきたいと思っておりますのでご理解ください。

(委 員) よろしく申し上げます。

(会 長) 「子ども読書のまち」を宣言している事自体をPRする方法はいろいろあると思いますが、委員もそれぞれのエリアで出来る事を進めていく、あとは事務局と両輪になって進めていきましょう。

それでは本日予定しておりました議題についてはすべて終了いたしました。これを持ちまして本日の会議を閉じさせていただきます。